

第42回日本認知症学会学術集会  
ランチオンセミナー18

# 治療に役立てる 認知症の画像診断

2023.11.26 (日)  
12:10~13:00

第5会場

(奈良県コンベンションセンター 2F 会議室204)

〒630-8013 奈良県奈良市三条大路一丁目691-1

事前申込みや、当日現地での整理券配布はございません。  
参加ご希望の方は、直接各セミナー会場へお越しください。

座長

川勝 忍 先生

福島県立医科大学 会津医療センター 精神医学講座 教授

演者

和田 健二 先生

川崎医科大学 認知症学 教授

共催：第42回日本認知症学会学術集会  
PDRファーマ株式会社

後援：日本脳神経核医学研究会／日本核医学会

演題

# 治療に役立てる認知症の画像診断

川崎医科大学 認知症学 教授 和田 健二 先生

認知症診療の第一歩は診断である。診断過程においては、認知症あるいは軽度認知障害の有無を総合的に判断するために認知機能、日常生活活動や行動・心理常用を包括的に評価する。認知症や軽度認知障害の状態が考えられた際には脳脊髄液検査や画像検査を行いながら、臨床所見とともに背景疾患を鑑別診断していく。なかでも、画像診断は認知症疾患の鑑別において中心的な役割があり、CTやMRIなどの形態画像のみならず、脳血流SPECTやアミロイドPETなどの核医学検査も重要な位置づけとなっている。本セミナーにおいて、認知症の画像検査について解説する。

## 日本脳神経核医学研究会及び日本核医学会入会のすすめ

日本脳神経核医学研究会は、日本核医学会の分科会として、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的として平成12年11月3日に発足しました。脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科など臨床診療に携わる医師、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、さまざまな課題に対応するために、ワーキンググループを設置して議論を深めていく予定です。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。

この趣旨にご賛同いただき、核医学の発展のために、是非本研究会、学会にご入会いただきますようお願い申し上げます。

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

### 日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F 日本コンベンションサービス株式会社内  
Tel:03-3508-1243 Fax:03-3508-1302 E-mail:infojcnn@convention.co.jp

